

近隣の鎌倉に隠れてはいるが、葉山は文士が多く暮らす土地である。ある人に言わせれば、文学を愛する者にとって葉山は「星々がまたたく空」。今日も町のどこかで、文士たちによる地上を照らす美しい思索が生まれている。

そんな光の発信者の一人だったのが畑山博さん（1935〜2001）。葉山に住むようになったのは1970年代後半。東京在住放送作家として多忙な日々を送りつつ、『いつか汽笛を鳴らして』（1972）で芥川賞を受賞するなど、小説家としても華々しい経歴を築きつつあった頃だ。なぜ葉山を選んだのか詳しい事情はわからない。当時の随筆には、貧しかった少年時代から海の見える畑で暮らしたいと母と話していたこと、傷つけ合うばかりの都会の生活から逃れたかったということが書かれている。

居を定めたのは下山口の森のはずれ。年中修理を必要とする年季の入った家だったという。しかしそこには作家を癒し、自由な思索を再び活発化させる豊かな自然があった。住みはじめて2週間後に台風で屋根が飛ばされる憂き目に遭ったが、細長い棟だけになった外観を、敬愛する宮沢賢治にちなんで銀河鉄道の始発駅に見立て喜んでさうである。葉山での暮らしを書いた随筆もいくつ

か出版されている。

十坪ほどの敷地に作物を植え、日々畑いじりにいそしんだ。また身の回りの植物や野生動物を愛し、よく観察した。夕方、庭にやって来る鳥や虫たちの集いをパーティーのようだと思ったり、ひまわりや1本ずつ名をつけてその個性を楽しんだり、風に吹かれて転がるどんぐりの実を匍匐前進に見立てたり。その筆にかかると身近なものたちが名もなき星のようにきらめき、どんな星もそれを輝かせるのは見る人の心の目だということに気づかされる。

そしてその世界は、宮沢賢治の心に限らず寄り添って行く。葉山で暮らすようになった後、作家の筆は小説から少しずつ離れ、賢治の研究に重きが置かれていくが、それは文学を自ら生きることにした結果なのかもしれない。

葉山を終の棲家と定めた作家が、うつし世から旅立ったとき、書きかけの原稿の間から、彼の地へ住居を移すというまるで引越しの挨拶文のような遺書が出てきたという。生前から、最後は銀河鉄道に乗って星空に旅立つというイメージを語っていた。

空から地上を眺めるようになった作家が楽しめるよう、この身もたとえ小さな星屑でも輝かせていたいと思うのだ。

人々のくらしに育まれてきた健やかで美しい「にほんの里」百選。

## 上山口棚田

上山口の棚田は「にほんの里」百選に選ばれている。

美しく、懐かしい里山の風景に日本人の原風景を思いおこす人もいるだろう。あるいは棚田に立つて、山からの爽やかな風を感じ、非日常の中に身をおくことでリフレッシュする人もいるだろう。

棚田とは傾斜地にある稲作地であるため、機械も使用するが、手作業が中心となる。

江戸時代から続くこの棚田は、たいへん貴重なものがあるが、水張りの維持、後継者や費用の問題などで昔に比べて減少してしまっている。

葉山山里会は、山里の美しい景観を残そうと、町民有志で米づくりや畑の仕事を農家の方々から学びながら、農作業のお手伝いをしている。

志をもつ人々の営みによって美しく整備された棚田は、葉山が残したい未来遺産の一つである。



山里会による援農が美しい景色を支えている

### 葉山の夏祭り

詳細は葉山まちづくり協会 HP にも掲載！

第52回 葉山海岸花火大会 7月26日(水)	森戸の浜の盆踊り 8月13日(日)	下山口 神明社例大祭 8月19日(土) 宵宮 8月20日(日) 本宮	上山口 杉山神社例祭 8月19日(土) 宵祭 8月20日(日) 本祭	木古庭 神明社例大祭 8月26日(土) 宵宮 8月27日(日) 本宮
		長柄 御霊神社祭礼 8月26日(土) 宵宮 8月27日(日) 本宮	堀内 森戸大明神例大祭 9月7日(木) 宵宮 9月8日(金) 本宮	
		一色 森山神社例大祭 8月26日(土) 宵宮 8月27日(日) 本宮		

### 登録団体ニュース・イベント

郷土誌 葉山 第11号  
『葉山町の歴史とくらし』拾遺 発刊！



葉山郷土史研究会より『郷土誌 葉山11号』が発行されました。同会が編さんした町の町制施行90周年記念『葉山町の歴史とくらし』におさめきれなかった情報や取材時に生じた新発見に焦点をあてた内容となっています。全ページカラー。写真や絵図も満載、見どころの多い最新号です。

葉山まちづくり協会にて、好評販売中

オーシャンファミリー  
海洋自然体験センター

- 2017年度 三宅島サマースクール
- ビギナーコース 小学5年生～高校3年生  
日時：7月31日(月)～8月5日(土)  
費用：77,000円 別途往復船代
- アドバンスコース スクール経験者  
同等のレベルであれば可  
日時：8月6日(日)～8月11日(金)  
費用：83,000円 別途往復船代
- 申し込み・問合せ：046-876-2287  
<http://oceanfamily.jp/>

長柄・桜山古墳をまもる会

- 山梨県の古墳を巡る バス見学会  
日時：9月2日(土)  
定員：26名(先着順)  
費用：会員 5000円、一般 6000円  
申込み・問合せ：070-5569-6150(オビナタ)

60才からの音楽教室

- みんなで歌おう アミスタ会  
日時：10月8日(日)14時から  
場所：葉山町福祉文化会館  
費用：500円  
申込み・問合せ：046-875-0029(タカナシ)



## あらためまして、認定NPO法人 葉山まちづくり協会です



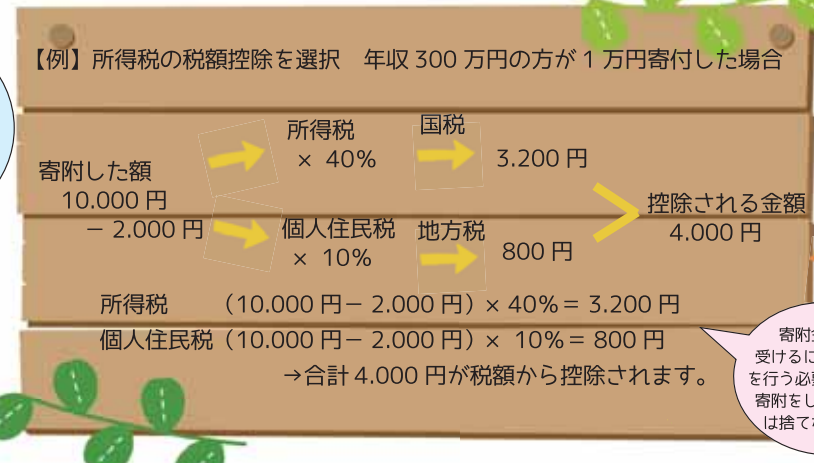
昨年11月より「認定NPO法人葉山まちづくり協会」となりました。このたびの「認定」を受けたということ、NPO団体としてこれまでの活動が大きく評価されたわけです。この機会に、町民の皆様にご寄附募集のお願いをいたします。

「認定NPO法人」になると、「寄附をしてくださった場合には確定申告の際に税制上の優遇措置が受けられます。この協会は葉山に住んでいる方々が主役となっても楽しく生き生きと日々を過ごされるように、また、それぞれの団体が楽しく充実した活動ができるようにサポートをする組織です。資金的には厳しい状況です。広く町民の皆様にご寄附のお願いを重ねて申し上げます。

また、会員も募集しています。登録団体以外にも、個人で会員になることもできます。年会費は一般会員10000円、正会員（運営に携わること可）30000円です。会員になると、「コピー機利用、少人数の会議スペース利用（予約制、無料）、ギャラリー貸し出し（有料）など様々な特典やサービスを利用することができます。年に2回交流会もあります。会員同士の新しい出会いや人との交流が

広がることで、葉山の歴史、文化、自然など新しい情報を得られます。そうすることで豊かな日々を過ごすことができるでしょう。

少しでも興味のある方は気軽に事務局にお問い合わせください。



## 新規 登録団体

### 一般社団法人 葉山町シルバー人材センター

平成29年4月にまちづくり協会の登録団体に加わりました。生涯現役を合言葉に、地域貢献を目指して多彩な技術と知識を持った会員が活躍中！

葉山町シルバー人材センターには元気で意欲に満ちた会員が揃っている。町内の公園や個人宅で除草作業をしている様子を見たことがある人は「存じだろっが、作業はテキパキして実に生き生きとしている。大工仕事もやるが力仕事だけじゃない、宛名書きや賞状書きといった事務仕事、30分のできる手作業を500円で受けるワンコインサービス、「葉山デジタル倶楽部」という部門ではパソコン・スマホの使い方を教えてくれたりホームページの作成までやってくれるのだからなんともし心強く頼もしい。

理事長の清水博さんは「高齢者が就業することで地域社会に貢献して生きがいを感じ、健康で生活できるように」と活動の目的を「高齢者福祉」と話す。葉山には多趣味で知識豊富、経験豊かな人がたくさんいる。そういう人たちが力を

生かすことで町が活性化すればそれはなにより福祉であり「魅力あるまちづくり」になるに違いない。



仕事を終えたあとも快活な会員

一般社団法人「葉山町シルバー人材センター」では今年「いずれは葉山へ、いずれは葉山シルバーへ」の合言葉が生まれま



手際の良さには定評がある

は60歳以上の会員が170名以上います。「臨・短・軽」といわれる臨時的、短期的な軽作業に従事しています。定年が65歳を越えようとしている現在では60代前半の新規入会員が減少しています、会員の平均年齢は72歳を越えています。当センターで目指す神奈川県の期待にも応えようと植栽部、駐車場部、マンション部の他パソコン、ワンコインなどで元気に就業しています。駐車場関係では葉山公園と長者ヶ崎の料金徴収や町役場庁舎での誘導業務を行っています。特に植栽関係では葉山町の公園と緑地や学校の他、個人家庭の庭木の剪定・除草が年々ふえていて人材不足に悩んでおります。常に会員募集をしていますので、葉山大道にある保健センター内の事務所へお気軽にお越しください。

## 葉山まちづくり館へ よっこそー！

「写真絵はがき」などおよそ15点を販売。パソコンコーナー データ作成、ネット検索によく利用されて席の空く間もありません。また資料の整理保存に背貼り製本機やラミネーター（有料）も備えています。

葉山まちづくり館は葉山まちづくり協会が町と協働して、まちづくりにつながるさまざまな活動の支援や交流の拠点として平成15年に町立図書館にオープンしました。図書館2階の奥まったところですが事務局が置かれスタッフが常駐しどなたでも気軽に立ち寄りいただけます。ではご案内しましょう。部屋にはいるとすぐに「こんにちは」とスタッフの明るい声呼びかけてきます。

協会一の働き者で評判のよいコピー機、画質の良さはもちろん、安価でスピーディに仕上がります。ポスターや看板作成には大型プリンターもあります。また、明るい場所でもよく見えるプロジェクトター（有料）はまちづくり活動の会議やイベントの報告会に頼もしい相棒です。

交流スペース 協会登録団体の会議や打ち合わせを優先しますが、図書館帰りのお茶休憩も歓迎します。味と香りが定番のコーヒーを楽しみながら葉山の新しい情報を仕入れてください。善意で持ち寄られた日用品のリサイクルコーナーもあります。

右壁面と廊下に展示される館ギャラリーは「地域を支える町内会の活動」など多彩な企画展で葉山の良さを再発見させてくれます。さらに座は毎月第2金曜の午後ゲストを囲んで気軽にしゃべりを楽しみ、人の輪をひろげる交流の場。遺言状作成をテーマにした勉強会は年2回開催。そしてこの葉山の仲間たちは年4回、協会の情報紙として発行。町のイベント、地域、人、登録団体にスポットをあててユニークな紙面づくりに努めています。スタッフ一同皆さんの来館をお待ちしています。

## 豆知識

葉山ウォークで訪れる神社・お寺の 須賀神社 葉山ではめずらしい京都の祇園社を勧請したと伝わる須賀神社。そのお神輿は由来が帝（みかど）を乗せた「輦」や「高御座」であったと思わせる上品で雅やかなもの。そして白装束、白足袋、烏帽子をつけた担ぎ手がいずれと巡行する、京都祇園の風情あふれる神輿なのです。

諏訪神社 社殿の前の狛犬は顔が猿になった珍しいもの。猿は古代では神の使いを努めていたといわれています。地元では周知のこんなことあんなこと。お宝満載の葉山の情報をまちづくり協会では自然・文化・歴史のあらゆる方面からお知らせしていきたいと思っています。協会のHP「葉山のお宝情報」をクリック！



## 10月開催決定！ 第6回 葉山ウォーク

毎年好評の葉山ウォーク。6回目となる今年のテーマは「ひげじいの絵はがきを見ながら社寺めぐり」。まちづくり協会では「ひげじい」こと石原まことさんが葉山のあちこちを歩きスケッチしたものを140種類の絵はがきにして展示販売している。この中から9つの社寺を選び、石原さんが描いた場所からの景色を眺めようというもの。身

【日時】平成29年10月14日（土）雨天の場合は15日（日）  
【集合】 鑑摺バス停 9時20分  
【コース】 葉山港→日影茶屋→海宝寺（鑑摺）→須賀神社（鑑摺）→諏訪神社（鑑摺）→清浄寺（鑑摺）→森戸神社（森戸）→光徳寺（向原）→長徳寺（木ノ下）→まちづくり館（町立図書館）



今年もやるよ！